

環境問題について考える

環境問題は、地球全体の大きな課題の一つです。頭の柔軟な小学生のうちに、自分たちの身のまわりの環境問題について考えさせるのは極めて重要です。今、本校では、環境について考える授業が続いています。授業でどんなことを学んだのか。そして、自分たちは何ができるのか子どもと語り合い、それが家族で環境問題について考えるきっかけになれば幸いです。

川の現状を観察し、体感する(5, 6年生) 10/5



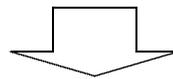
馬形川河口から川を遡る。今回も青少年自然の家(河口から約300mの地点)の協力をいただきました



ここまで気づいたことなどを確認する



川の両側に草が生い茂っているため、ここから少し歩いて移動する。



さらに上流へ向かう



子ども達が獲ったテナガエビ



再び川へ



周辺は稲刈り直後の田んぼ地帯



道具をもって移動
箱メガネなどは、「青少年自然の家」のもの

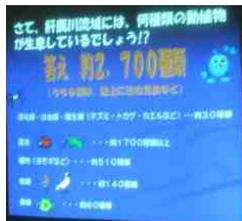
鹿屋市環境政策課の環境出前講座(5, 6年生) 10/10



肝属川の環境について



体育館で話を聞く



肝属川流域に棲息する動植物は約2700種

4年生の環境学習
清掃センター見学
へ出発 10/10



肝属川の水を調べる



青少年自然の家で「総合的な学習」
(3, 4年生) 出発前 10/11



楽しく分かる授業を目指して

子どもの考えを
きちんと確認しな
がら授業を進める。

答えが分かったら、
先生に見てもら
うために急いで並ぶ。

板書は色チョークや定規
を使って分かりやすく
ていねいに書く。

避難訓練
静かに素早い行動が
できた。

(6年理科)

花に袋をかぶせて、1時間ほど
たってから、袋の中の気体を気体
検知器を使って調べる。

結果はどうなったか、お

気体検知器

お母さんに説明できるかな？